

# 寝屋川民報

発行  
日本共産党  
寝屋川市議員団  
824-1181  
(内線 2399)  
FAX No. 824-7760  
Email: jcpncc@cc-net.or.jp  
No. 1970

田中 ひさ子  
園松町10-36  
☎823-1714  
寺本 とも子  
豊里町38-1-105  
☎829-9424

中林 かずえ  
宝町4-33  
☎839-2289

中谷 光夫  
高宮2-19-5  
☎823-5947

松尾 信次  
下木田町12-6  
☎821-7427

## 市政革新へ団体・個人が意見交換

### 介護・教育・福祉など思い熱く

#### 革新市政をつくる会が 市政シンポジウム

十月二十九日(日)午後、市民本位の寝屋川革新市政をつくる会が、「市政シンポジウム」を開きました。新日本婦人の会の垣内規子さんが、主催者挨拶をおこないました。

- ① 寝屋川市民の暮らしの現状
- ② 市財政の現状
- ③ 福祉・教育など重大な後退すすむ(資料別表参照)
- ④ 大型公共事業は特別扱い 自治体の開発会社化すすむ
- ⑤ 八万人の署名無視して、廃プラ処理施設建設へ
- ⑥ 人口減少・少子化の進行
- ⑦ 市民の意見を聞かない市政

#### 各分野からの報告

◆介護保険制度について、けいはん医療生協の職員が、制度改定で、予防給付と介護給付の二つになり、介護ベッドなどのとりあげの問題点を報告しました。また、府下三二市町村で実施の保険料減免に

- ⑧ 市民アンケートに示された市民の意見
- ⑨ 寝屋川市に住みつけ、市政を変えたいと願う市民の運動広がる
- ⑩ 市長選挙に向けての政策の基本(案)

◆公立保育所の民営化問題について、寝屋川保育運動連絡会の代表が、あやめ保育所の民営化を通して、①先生、職員の総入れ替えというのは、子どもには大変なことだった ②保育の公的責任、児童福祉制度を壊す ③民営化に対して、各保育所父母の会で運動の動きがある、などの報告をおこないました。

#### 馬場市政のもとで後退した主な施策

- ・市立池の里小学校・明德小学校の廃校
- ・市立あやめ保育所の廃止・民営化
- ・東図書館運営業務の委託
- ・敬老のつどいの廃止
- ・はり・灸・マッサージ施術費助成の廃止
- ・生活保護世帯長期入院、入所者見舞金の廃止
- ・敬老金の大幅な削減
- ・寝たきり老人見舞金の廃止
- ・障害者通所・入所施設負担金半額公費負担の廃止
- ・障害者福祉金の廃止
- ・難病患者見舞金の廃止
- ・家族介護用品支給事業非課税世帯のみに
- ・身体障害者手帳診断料の有料化(課税世帯)
- ・身体障害者補装具給付金の廃止
- ・あかつき園・ひばり園・第2ひばり園保護者負担金助成の廃止・職員の削減
- ・養護学校指導員のアルバイト化
- ・保育所・幼稚園職員の退職不補充(アルバイト化)
- ・中学校給食の廃止
- ・学童保育土曜日閉所・職員の非常勤化

#### 値上げ、有料化された主なもの

- ・水道料金
- ・ごみ処理手数料
- ・下水道使用料
- ・保育所保育料
- ・幼稚園保育料
- ・市民会館使用料
- ・基本健康診査、各種ガン検診の有料化
- ・市民体育館、野外活動センター、学校夜間照明使用料

◆学童保育について、学童保育連絡協議会の代表が、土曜閉所の問題、指導員の非常勤化の問題を訴えました。

都市開発と環境問題をとりあげたアニメーション映画「平成狸合戦ぽんぽこ」がありました。最近、帰宅途中の深夜、道路端の水路に走り込む狸の姿が、車のライトに浮かび上がることで増えました。寝屋川で残っていた貴重な緑が、第二京阪道路の建設によって大きく失われてきています。人里に隠れ棲んで、狸の行く末は大丈夫なのでしょうか。あらためて、人間と自然との共生について考えさせられます。▼第二京阪道路の売り文句は「緑立つ道」です。しかし、事実が証明しています。その言葉が、いかに薄っぺらでまやかさに満ちているか。だましているのは決して「狸」ではありません。たしかに道路を利用する者には便利になるでしょう。しかし、事業者や推進の立場に立つ行政が言うように、健康のための生活環境が良くなることは決してありません。▼元大阪府知事の黒田一さんが、メダカやホタルがすめる自然環境を大切にすることが、人間を大切にすること、人間が生きる環境を守っていくことになると強調されたことを思い出します。人間の健康や環境よりも大企業や特定業者の利益優先の政治をただす。寝屋川でも熱い争点です。

(裏へ続く)

◆公立幼稚園について、市職員労働組合から、十五年間ほど正職員の教員採用がなく、アルバイト補充していること、この間、保育料が年九万円から十二万円に値上げされたことなどが報告されました。

◆学校教育では、市教職員組合が、東小学校の耐震改修工事について、九月十一日からなり、騒音とホコリで



教育活動にも影響があることを報告し、その要因に、部署と職員の削減という「行革」のしわ寄せがあると訴えました。

また、子どもと学校を追い込む競争でなく、少人数学級の実現などを訴えました。

◆給食について、子どもたちの給食をよくする会が、乳幼児や障害

児を育てるうえで、また、アレルギー食についても寝屋川市がすぐれていたことを述べ、給食の民間委託化を進める市の動きなどを批判しました。

◆再開発について、中林和江議員は、アドバンスの再開発が二百億円から四百億円になったことにふれ、今の市駅東・香里園駅東の二つの再開発に百十三億円以上の市税を投入する事業、寝屋南土地区画整理事業などが市民によく知られていないと指摘し、事業の問題点を明らかにしました。

◆障害者施策について、重度の自閉症児を持つ親が、自立支援法にな

17年度  
決算委員会

配偶者特別控除廃止で  
五億四千万円の影響

十七年度は、国の税制改悪のスタートの年で、配偶者特別控除の廃止がおこなわれました。影響額は五億四千万円で、増税になった市民は二万六千人で

す。

一方、十七年度の個人市民税は、八年ぶりに増収となったものの、増収額は約一億八千九百万円です。配偶者特別控除の廃止がな

ければ、昨年よりさらに減収になったもので、市民生活の困難は続いています。

(左表参照)

市民生活困難な中  
増税はやめるべき

中林議員は、政府が、景気が回復基調にあるとして、十八年度から定率減税の縮小廃止など、本格的な増税をは

じめたことについて、さらに市民のくらしをきびしくするものであり、やめるべきだと主張しました。

個人市民税の推移

年度	決算額	対前年度比
平成13年	11,193,777	
14年	10,593,980	▲599,797
15年	9,559,685	▲1,034,295
16年	9,187,835	▲371,850
17年	9,376,483	188,648

議員日誌



中谷  
光夫

日中はまだかなり暑いものの過ごしやすき季節を迎えました。決算委員会も終わり、のんびりしたいところです。

しかし、この時期は、市の行事や民主団体の取り組みがいっぱいになります。嬉しいことに、相談も増えました。

法律相談

とき: 11月16日(木)夜6時半~  
ところ: 市民会館第3・4会議室  
予約、お問い合わせは党市議団まで

府営住宅総合募集

一般世帯・福祉世帯向けあき家まちなど  
申し込み期限 11月末  
申込み、お問い合わせは党市議団まで

って、障害者と家族、施設経営者にとって、困難が大きくなっていく問題を、具体的に明らかにしました。

これまでの数倍から十倍近い大幅負担増で、月八万円の障害年金では生きていく上で必要な福祉サービスを受けたり、施設利用ができなくなる実態を訴えました。

◆民主主義と人権を守る府民連合の代表は、この間の報道にみる同和問題について、「部落解放同盟」と暴力団が利権にたかかってきた本質を明らかにし、かつての寝屋川の同和施策を紹介しました。

また、不正をただすために、日本共産党

などががんばってきたこと、全会一致の市議会特別委員会の提言を受けて、個人給付や「解同」への補助金が廃止されてきたことを指摘しました。しかし、形を変えた特別扱いが廃プラ施設問題などであり、今後の説明が待たれると述べました。

◆最後に、廃プラ処理による公害から健康と環境を守る会の代表が、二年半の活動を紹介し、廃プラ処理については、健康被害、環境悪化、財政負担からみて、マイナスの事業であると述べ、市民の声を聞くあたり前の市政をとりもどすための共同を訴えました。